

とういの山甲から

たいぶさみさき

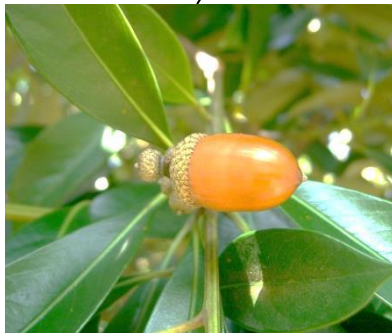
大房岬自然公園ニュースレター No.92

2014年
10月

一年で一番過ごしやすい季節の到来です。少し肌寒い夜に囲む火の暖かさは何とも言えませんね。公園も実りの秋を迎えます。人間の子供も達と動物とのどんぐりの取り合い合戦が始まっています。

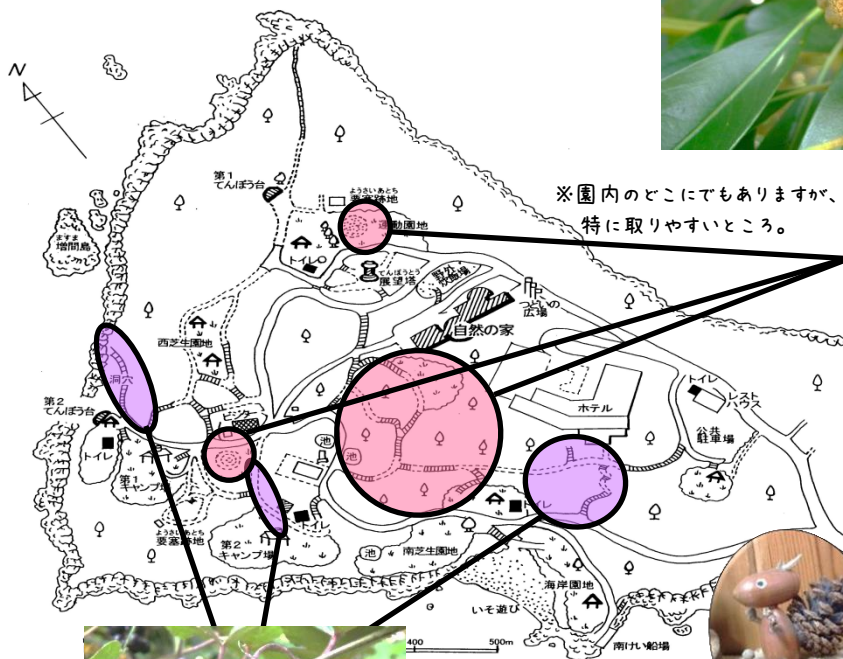
たいぶささんぽ

自然の様子や最近の出来事など、旬の公園情報をご紹介します。



実りの秋。
自然からの
贈り物

「マテバシイの
どんぐり」



どんぐりと言えは、コナラなどの落葉広葉樹を思ふ方も多いかもしれませんが、常緑樹のシイ類もどんぐりを沢山つけます。大房岬で圧倒的に多いのがこの地域では“とうじ”と呼ばれる「マテバシイ」。このどんぐりは戦前までは食用にされており、コナラのどんぐりはアク抜きが必要ですが、マテバシイは炒るだけですぐ食べられるので、手頃な栄養源だったのでしょね。

ビジターセンターでは可愛いこのどんぐりを使ったネイチャークラフト体験ができます。ぜひ公園の思い出にしてください。

ネイチャークラフト体験
*材料・体験費込 ¥300
*ビジターセンターで
いつでも体験できます!



大房的“ヤマブドウ” 「エビヅル」

秋の美味しい味覚と言えはブドウ。山で採れるブドウと言えは「ヤマブドウ」ですが、公園にあるのはこの「エビヅル」。甘酸っぱい紫色の実です。でもなぜ“エビ”...? 昔はブドウのことを「エビ」と呼んでいたそうです。そしてこの実から染めた、深い紫色を「エビ色」と呼んで親しんでいました。

渡り鳥の季節。 変な名前の由来は... 「ウソ」

夏には北国の針葉樹林帯で暮らしていますが、この時期はここ大房にも渡り鳥としてやってきて冬を越します。ほっぺがピンク色の可愛らしい鳥です。「ウソ」という変な名前は、口笛を意味する古語「うそ」から来ていて、ヒーホーと淋しげな口笛のような鳴き声を発することから名付けられたとか。「嘘」とは関係がなかったんですね!





大房 キャンプスランヂ

たいぶさ

Lunch!Lunch!Lunch!!
キャンプ好きの人もそうでない人も!
大人も子どもも!
おじいちゃんおばあちゃんも!

みんなで南房総の
うんめえもん
食うべえよ〜♪

主催：大房 岬 自然公園



うんめえ〜!

おいしい食材に恵まれた南房総。焚き火料理ができる環境が整っている公園で、みんなで美味しいお昼ごはんを作って食べようというイベントです。キャンプ利用の方でも、立ち寄りの方でもどなたでも参加OK!! 各回募集中◎

10/26(日)

わた
和田の
鯨

× 直火鍋

手づくりナンと
くじらインドカレー

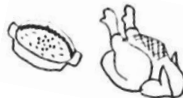


12/14(日)

とみやま
富山の
チーズ

× グッチ
オーブン

ハバットと
丸鶏のローストチキン



2/8(日)

たてやま
館山の
魚貝

× グッチ
オーブン

ほっこり塩釜料理
アクアパッツァ



11/30(日)

しらほま
白浜の
里見和豚
& 野菜

× 焚き火

パンからつくる!
炭火焼き豚バーガー



1/25(日)

とみうら
富浦の
菜の花 &
はばのり

× 鉄板
焼き



アツアツおやきと
オオバフカメのスープ

お申込みは
お電話で◎



Taibusamisaki Nature Park

たいぶさみさき
大房岬自然公園

【発行元】大房岬ビジターセンター (指定管理者): NPO 法人千葉自然学校

〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-29 TEL: 0470-33-4551

メール: park_taibusa@chiba-ns.net HP: http://taibusa-misaki.jp/